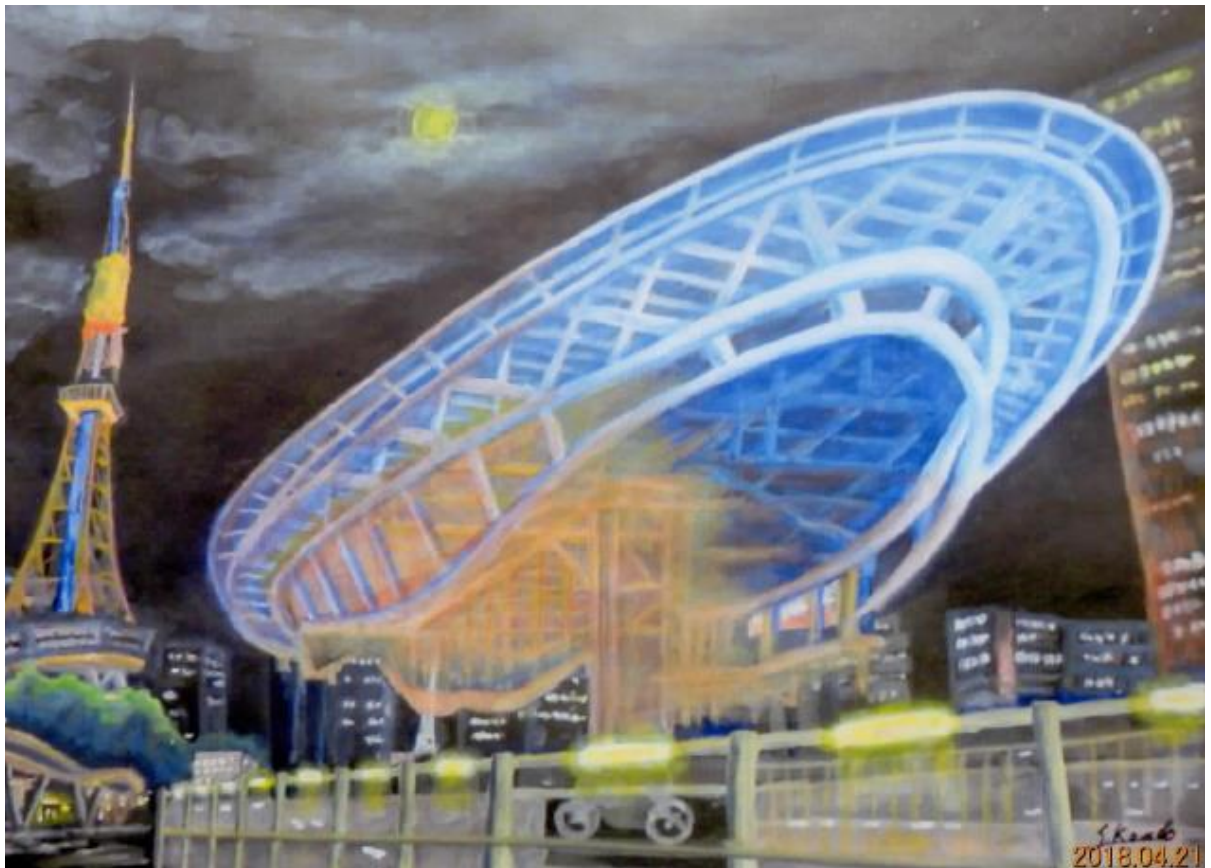


緑鯨城会便り

ふれあい

第 72 号
平成30年 6 月

発行：鯨城会 緑鯨城会
名古屋市高年大学 鯨城学園
編集：緑鯨城会 広報委員会



「オアシス21の夜景」

25 期 近藤仙治さん描画し撮影

目 次

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3
運営委員会だより	総務長 水谷 敏夫	4
新任役員就任挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・		7
体と口と心を動かし	会長 原田 良昭	7
副会長（鯨城会幹事兼任）の役割	副会長 馬場 良祐	8
副会長として	副会長 近藤 比呂史	8
総務の仕事に就いて	総務長 水谷 敏夫	9
会計を担当するにあたり	会計長 伊藤 吉雄	9
ボランティア活動（精神）とは	ボランティア委員長 遠藤 ハツエ	10
平成 30 年度 行事計画について	行事委員長 加藤 比敏	10
「料金受取人払郵便」	期別委員長 水谷 たか子	11
広報委員を引き受けて	広報委員長 熊田 八郎	11
前年度役員・委員の退任挨拶・・・・・・・・		12
会長任務を終えて	28 期 花井 興亜	12
鯨城会広報活動の思い出	28 期 加藤 専次	13
3 年間の役員活動を振り返って	28 期 戸田 幸彦	13
平成 30 年度 緑鯨城会総会アトラクション		14
委員会活動からの贈り物	28 期 鹿島 節子	15
行事委員を終えて	28 期 坂野 敏子	15
新入会員（31 期生）の紹介・・・・・・・・		16
ボランティア関係・・・・・・・・・・・・・・・・		21
ボランティアのはじめ、かきつばた見学		21
ウイメンズマラソンボランティアに参加して		22
HP 緑の広場より 車椅子贈呈式 & 扇川クリーンキャンペーン		23
特別寄稿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		24
ハゼ釣り	24 期 都島 信行	24
黄昏時に思うこと	29 期 平田 信幸	24
俳句・短歌・川柳コーナー	30 期 坂神 誠	25
同好会活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		27
ボケ防止の健康麻雀の会	26 期 高須賀 哲一	27
歌で健康維持とボケ防止	27 期 磯部 勝	28
楽しく 面白い 陶芸	23 期 楠 英信	28
緑鯨城会ゴルフ同好会（MGK）活動	29 期 馬場 良祐	29
「趣味の作品展」の作品募集・・・・・・・・		30
ウォーキング同好会活動報告	26 期 加藤 勝江	32
表紙「オアシス 21 の夜景」について & 編集後記・・・・・・・・		33

運営委員会だより

総務長 水谷 敏夫 (29 期 文化 B)

第 11 回運営委員会 (2 月 17 日)

1. 会長挨拶 (花井)
 - ・来年度の準備とインフルエンザに注意されたし。
2. 代議員会報告
3. 幹事会報告 (馬場)
 - ・2/5 日に有りました。
 - ・16 区フェスは来年度引き続き検討する。
4. 協議事項
 - (1) 緑鯉城会総会について、資料の訂正を確認した。
5. 委員会活動報告と連絡
 - (1) 総務 なし
 - (2) 会計 (伊藤)
 - ・2/17 日現在、30 年度入会者は 153 名です。
 - (3) ボランティア委員会
 - ・市民病院に車椅子 2 台贈呈をする。(頂いた 5 万円で)
 - (4) 行事委員会 (松井)
 - ・大須演芸は満席になった。又、色々な企画を予定しています。
 - (5) 広報委員会 (熊田)
 - ・ふれあい 71 号の印刷入り、3/2 (月)製本・袋入れ配達予定。
 - (6) 期別委員会 (水野)
 - ・30 年度ボランティアからの依頼説明、ボラ参加の連絡方法変更について了承できた。



第 12 回運営委員会 (3 月 17 日)

1. 会長挨拶 (花井)
 - ・4 月 11 日の総会は無事終了を願う。
 - ・30 年度は、入会者数は 330~340 名ではないか。
2. 代議員会・幹事会報告 (加藤)
 - ・3/5 日幹事会有り、議題は無かった。入学は 531 名、卒業生は 447 名であった。
3. 協議事項
 - (1) 総会について (花井)
 - ・シナリオを点検し訂正有れば改訂実施。
4. 委員会活動報告と連絡
 - (1) 総務 (戸田)
 - ・31 期生懇親会状報告
 - (2) 会計 なし
 - (3) ボランティア委員会 (遠藤)
 - ・4 月の活動予定報告。かきつばた・病院ボラ人数が少ない。

- ・ 3/23 日車椅子贈呈式有り。
- (4) 行事委員会（加藤）
 - ・ 上期の行事予定報告。
- (5) 広報委員会（熊田）
 - ・ ふれあい 72 号の発行に取り掛かりたい。6 月末までには印刷完了し、封入を予定。
- (6) 期別委員会（水谷たか子）
 - ・ ボランティアに参加した人数は 63 名だった。

第 1 回運営委員会（4 月 21 日）

1. 会長挨拶（原田）
 - ・ 本年度のスローガン「体と口と心を動かし、個々と会の活動を高めよう」で 30 年を活動していきます。
2. 代議員及び幹事会報告（馬場）
 - ・ 4/3 日と 9 日臨時会議が有った。
 - ・ 議員数は 32 名から 20 名に減りました。
 - ・ 本年度入学者数は 545 名です。
3. 協議事項
 - (1) 30 年度役員、運営委員会方針の発表説明。作品展は 5 月より活動（近藤副会長が主となる）6 月には出展打合せ予定。（原田）
4. 委員会活動報告と連絡
 - (1) 総務 なし
 - (2) 会計（伊藤）
 - ・ 領収書は各委員長に提出、裏面に購入物の名、名前を記入されたし。
 - ・ 区民まつり、作品展の費用は総務にて精算する。
 - (3) ボランティア委員会（遠藤）
 - ・ 5 月の活動予定の報告有り
 - (4) 行事委員会（加藤）
 - ・ 30 年度、上期と下期の行動予定の説明。
 - (5) 期別委員会（水谷 たか子）
 - ・ 緑区クリーン・キャンペーン有り
 - ・ 扇川清掃は 88 名の参加有り、ウイメンズ・マラソンは 55 名の参加でした。

第 2 回運営委員会（5 月 19 日）

1. 会長挨拶（原田）
 - ・ 5/24 日 33 期生ミーティングの件、実施要項の説明。
2. 代議員・幹事会報告（馬場）
 - ・ 鯉城会の人事報告
 - ・ 30 年度の活動方針及び事業計画の報告
 - ・ 30 年度の予算
 - ・ 30 年度 31 期生入会金返却の報告
 - ・ ホームページは 3 か月ほど休みます。



3. 協議事項

- (1) 第 23 回趣味の作品展（近藤）
- (2) 緑鯨城会の年間概要スケジュールと同好会活動一覧表の説明（近藤）
- (3) 32 期生対象の第 3 回地域ミーティングの説明（原田）

4. 委員会活動報告と連絡

- (1) 総務（水谷）
報告資料の締切が変わる事が有るので、よろしく。
- (2) 会計（伊藤）
 - ・会費 1300 円の返却についての報告。
- (3) ボランティア委員会（遠藤）
 - ・ 6 月ボランティア委員活動予定の報告。
- (4) 行事委員会（加藤）
 - ・ 30 年度、上期の行事参加状況報告。
 - ・ 30 年度、下期の行事募集の案内。
- (5) 広報委員会（熊田）
 - ・ 5/31 日鳴子コミセンにてパソコン勉強会予定。
 - ・ 作品展のポスター募集中、6/15 日締切です。
- (6) 期別委員会（水谷 たか子）
 - ・ 30 年度、期別委員会活動予定表を作成報告。



（備考；総会・新役員の写真等は、渋谷稔さん・福田聖太郎さんが撮影したもの、
ばらの花は、岐阜花フェスタ公園で撮影したものです。）

新役員就任挨拶

体と口と心を動かし

会長 原田 良昭 (29 期 地域 B)

新規会員 28 名を迎え総勢 339 名で 30 年度緑鯉城会をスタートいたしました。

本年は「口と体と心を動かし個々と会の活動を高めよう」をスローガンとして皆様とともに活動していきたいと考えます。

皆様が大いに体を動かし行事やボランティア活動に積極的に参加し口もいつものように動かし、そして相手のことを思いやる心を開いて、楽しく話し合う事ができるそのような会の雰囲気になれたらと考えています。

その思いを役員の皆様にも理解と実践をしていただき会議、行事においても楽しく進める事を基本とし、できるだけ多く言葉のキャッチボールをする事を心がけていただきたいと思います。

近年鯉城学園と鯉城会の入会率低下が著しくなっています。

鯉城会全体として魅力作りを考察しているところですが個々の考え方の相違、趣味、人生観の多様化等難しい問題がたくさんあり一朝一夕には解決できない問題を抱え込んでいると考えています。

しかし、人間はどんな時代、年齢でも「苦労しても楽しく達成感と自分の成長を感じる」そんな場所に必ず参加してくれるのではないのでしょうか。

まず、身近でがんばっていただく役員の方からできるだけ不平不満の出ないようないろいろな意見を出していただき、公正な会の運営に努め、会員の皆様とこれから入会していただく皆様に緑鯉城会で楽しく活動できた、と思っただけのそんな変革の一端を担えればと考えています。

一年と言う短い任期ですが一年、一年が継続されて良いスパイラルとなるようがんばってまいりますので、会員の皆様の積極的な参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。



副会長（鯉城会幹事兼任）の役割

副会長 馬場 良祐 （29 期 生活 A）

鯉城学園入学式に学長（河村名古屋市長）の「八事に行く前にチョットづつ地域に返してってチョーよ」という言葉が脳裏から離れず、卒業時に緑鯉城会に入り 3 年目、今年度副会長（鯉城会幹事兼任）を仰せつかり責任の重さを感じています。会則に目を通しますと副会長の任務は「会長を補佐する」と書いてあり少しは気が楽になります。

今年度 31 期生の緑鯉城会入会者数は 26 名（入会率 36%）でした。鯉城会全体の入会率も 36%でしたので平均値ですが、さすがに寂しいことです。

入会率UPを目指すことは今年度の重要課題になっています。全緑鯉城会会員の皆様のお知恵を借りて取り組んでいきたいと思いますのでご協力、ご意見をよろしくお願い致します。



鯉城会の幹事会は会則や組織の変更で幹事の人数も減少（32 名～20 名）して、グラウンドゴルフや OB 文化祭の開催に向けて「どうしたらできるか」の会議に参加者の皆様にも実行委員会に入っていただき、検討、推進していく予定です。

又、魅力向上委員会を設け、入会率 UP を目指します。

大変微力ですが一年間、よろしくご指導ご鞭撻をお願い致します。

副会長として

副会長 近藤 比呂史 （30 期 地域 A）



生まれ、育ちもご当地地元相原学区の近藤です。

入会 2 年目を迎え、より魅力ある楽しい緑鯉城会を求め、仲間と共に出来得ることから始めたいと思っています。

まずは、去る 5 月の役員会にて任命された作品展実行委員長として、今年 10 月予定の第 23 回緑区「趣味の作品展」成功に向かって全力を尽くす所存です。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



総務の仕事に就いて

総務長 水谷 敏夫 (29 期 文化 B)

総務の水谷です。よろしくお願い致します。

30 年度、総務を受け持たせて頂くことになりました。本年度の緑鯉城会の会員数は 338 名です。

総務といたしましては、ボランティア・広報・行事・期別の各委員会に、会員皆様の意見が充分反映されるよう、努力しなければと思っています。

4 月に私達、初めての運営委員会が行われ、議事進行役をさせて頂きましたが、皆様に納得して頂ける進め方で有ったか不安です。

しかし、本年度の原田会長も「体と口と心を動かし、会の活動を高めよう！」との言葉も有り、できるだけ多くの会員皆様に参画して頂き、楽しい集まり（緑鯉城会）になればと思っています。

これから 1 年のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



会計を担当するにあたり

会計長 伊藤 吉雄 (29 期 生活 A)

「会」は総勘定「計」はかぞえる意（広辞苑）、30 年度の会計を担当させていただきます。



金銭、物品の出納の記録をして管理をして、緑鯉城会の会員の皆様から徴収させて頂いた会費、町おこし他の助成金また公園清掃他の寄付金の収受をもって、会員の相互及び親睦を図ること、そしてボランティア活動、行事活動、広報活動また期別活動、そして趣味の作品展による地域活動にと、大切な金銭を無駄の無い出納を、しっかりと記録し管理をして、結果を緑鯉城会会員の皆様にご報告をさせていただきます。

よろしくご協力をお願いいたします。



ボランティア活動（精神）とは

ボランティア委員長 遠藤 ハツエ (29 期 生活 A)

ボランティアとは慈愛の心で奉仕を行う活動、決して結果や報酬を求めてはいけません。

活動のものを他言せず、ある意味自己満足でおこなうもの。地域社会の課題に眼を向け、頭と手足を動かして関わる。最近では、頭は働かず、口と手振りになります！

2 年間の学園生活、卒業して 3 年目にボラ委員長の大役を務めることになりました。

本年度は「毎日を 笑顔で！」をモットーに活動の輪を広げていきたいと思います。

この緑鯉城会も年々会員数が減少し、色々な行事の参加が困難になってきています。お互い様という気持ちを持って、自分やグループの力量にあった活動を末永く続けていけるよう努力していきたいと思います。

又、かきつばたの里の担当人数が不足して、毎月苦勞しており皆様のご協力よろしくをお願いします！



平成 30 年度 行事計画について

行事委員長 加藤 比敏 (29 期 福祉 A)



緑鯉城会の会員相互の親睦と絆を深めるため、社会見学と自然に接する機会をと考え、バスツアーでは「木曽駒ヶ根ロープウェイと養命酒工場見学」を夏のメインに計画し、秋は近場の「あいち航空ミュージアム・MRJ 見学と愛知明治乳業見学」を設定しました。

春の行事は、名古屋科学館の「プラネタリウム鑑賞」で、夏から秋にかけての火星大接近の年に、星空への関心を深めてもらえればと思いました。

すでに「プラネタリウム鑑賞」は 5 月 22 日に実施しましたが、47 名の参加を得て盛況で、当日の名古屋の夜空を疑似体験しました。

9 月 11 日には、近場の名古屋笹島、JICA（ジャイカ：国際協力機構）中部の「なごや地球ひろば」を訪問し、国際協力の実態を体験談も話していただきながら見学を予定しています。

緑鯉城会の最大行事は秋の「趣味の作品展」ですが、会員を主体に多彩な特技を展示する機会として例年、区民祭りに協賛して実施していますので是非とも、作品の応募と鑑賞の機会としてください。区民祭りでは大高緑地で主として子供達向けに無料の「プラスチックキーホルダー」作りを予定しています。

また、冬になりますが 2 月には、例年通り「大須演芸場」の演芸鑑賞で楽しんで下されば嬉しいです。

今年もよろしくお願いします。

「料金受取人払郵便」

期別委員長 水谷 たか子 (29 期 地域 A)



例年ボランティア委員会から、扇川清掃、鶴舞公園清掃、堀川清掃、マラソンフェスティバルの前に各期別委員に参加者を募集して欲しいと言われていました。今年は初めて前期別委員長の発案で「30 年度ボランティア参加予定」のはがきを 3 月 2 日「ふれあい」の配達と一緒に配りました。私の家に返事のはがきが届き、受け取りに印鑑が要ります。郵便局の人をお願いして一週間分まとめて配達をお願いをしました。緑郵便局で「料金受取人払郵便」を始める為の申請が大変でした。はがきを見て一年間のボランティアの予定が分かり、はがきを配り良かったと思いました。

広報委員を引き受けて

広報委員長 熊田 八郎 (29 期 文化 A)

鯉城学園を卒業する時に、クラスの思い出を文集にまとめようという動きがあって、緑鯉城会に入会の際、広報活動に少し興味を持った。

先輩からパソコンでインターネットを利用しているか？との質問に「はい」と答え、又時間に余裕がないと言ったら、校正と印刷の時に手伝ってくれば良いとの事で、広報委員を引き受けることとなった。



二年目になって、先輩の指導下で、ふれあいの表紙の作成、全般構成・編集にあたった。色々と失敗があって、「ごめんなさい」を何度か言った。皆さん、笑っておおらかに許してくれました。

「趣味の作品展」のポスター作りも紆余曲折を経験しました。

そして、「ふれあい 71 号」の作成をまかされ、皆さんの助けを受けて、不備なところがそこここにはありましたが、完成の満足感を味わうことができました。

今年は、責任者として、わずかな経験と、従来 of 発刊例を参考にする等して、出来る限り、多くの皆さんと交流しつつ、広報活動に努力して参りますので、従前同様によりしくお願い致します。



前年度役員・委員の退任挨拶

会長任務を終えて

前会長 花井 興亜（28期 環境）

昨年の緑鯨城会総会において会長職を仰せつかり、何の気負いもなく、例え市内一の大型鯨城会の緑鯨城会であっても、諸先輩方がしっかりと基礎を築いてこられた緑鯨城会ですから何とかなるだろうと引き受けたものの、いきなり定例会議の会場問題に遭遇し、従来の徳重地区会館はアクセスは良かったものの、収容人員で問題視され、他を探さざるを得ない状況に追い込まれましたが、役員各位のお力添えによりこの問題は何とか早期に解決致しました。

総務、会計、ボランティア、行事、広報、期別とそれぞれが、それぞれの立場で担当業務を全うして頂き、会員の皆様に少しでも楽しい一時がお届け出来たのではないかと思います。

また現在 11 の同好会が活動していますが、それぞれの同好会には心ある先輩諸氏に代表を務めて頂き大変感謝致しております。

毎年思いますのは秋の作品展・区民祭は緑鯨城会の一大イベントで、去年は生憎台風襲来による悪天候に見舞われましたが、盛会裏に終えることが出来たのも役員と緑鯨城会会員皆様の力の結集の賜物と心得ています。

また秋には名古屋市立緑市民病院より永年の受付ボランティア活動に対し感謝状と共に副賞まで頂きました。

副賞の使い方につき役員間で検討の結果、更に良いことに活用し価値を高められないかとの案から、患者さんにお役に立てて頂きたいと車椅子贈呈の案を緑市民病院へ提案した結果、3月に2台の車椅子を贈呈させて頂き、更に病院より感謝されました。これこそ緑鯨城会のあるべき姿で、これも諸先輩方の教への賜物と感謝致した次第です。

私にとりましては貴重な体験をさせて頂きました一年間でした。

皆様のご支援とご協力に感謝致します。有難うございました。

以上



鯨城会広報活動の思い出

前副会長 加藤 専次 (28 期 生活 B)

鯨城学園を卒業し、1年間鯨城会未加入の後、友人からの依頼を受け本部の幹事として2年間勤めさせて頂きました。

各委員会に所属することとなり、興味のある広報委員会に参加いたしました。当初は先輩の活動を見ながら、鯨城ニュース発行の仕事をする上で多くの会員の皆様に見て頂ける誌面にすべき内容又見映えも考え委員6人で討議を重ね提案をしてまいりました。

全体をカラー化し見易く、迫力感を出し、内容的には報告のみに留まらず、各区の自慢処を掲載し又個人の表彰者の記事を載せ学園に多才な方々がいることも発見出来ました。

原稿依頼については苦労しました。依頼者、期限等又校正作業により誤字、脱字を見つけ慌てて印刷業者に連絡をした思い出がありました。その様な時にも委員各位には面倒をかけ編集作業を終えたこと、楽しい思い出にもなりました。

2回の鯨城ニュース発行、各区の広報委員との広報サミット、又各区のHP委員会との交流等々楽しい時間を過ごした経験を今後共自身の活動に生かしていきたいと思っています。

関係者の皆様には感謝申し上げますと共に御礼申し上げます。

3年間の役員活動を振り返って

前総務長 戸田 幸彦 (28 期 生活 B)

平成27年4月緑鯨城会に入会し、総務に配属され3年間総務職として従事させて頂きました。

3年目は、総務長の大役を仰せつかりました、不安一杯の船出で有りましたが自分なりに無事大過なく務める事が出来たのかなと思っています。此れも皆様の御協力の賜物だと感謝しております。

振り返って見ますと総務長職は、本当に仕事量が多く目が回る様な日々を送った思いが残っておりますが、今思うと大変充実した日々を送っていたのだと思います。

特に思い出すのは、総務長就任直前の仕事が総会後のアトラクションの出演依頼と演目等の打ち合わせ、プログラムの作成、そして就任後の仕事が総会及びアトラクションの司会進行でした。司会進行等何れも未経験で、本当に出来るのか心配しておりましたが何とか無事終える事が出来、ホットした気分が今でも思い出されます。そして、会員名簿の期別と学区別の作成でした。特に学区別の名簿作成は、ふれあい配達者に必要な名簿でしたので間違いの無い様に何度も何度も見直し、本当に気を遣った記憶が残っております。

又、区民祭のプラバン作成ブースの出展では、多くの子供達の笑顔にふれあい大変楽しい時間を過ごす事も出来、良い思い出になりました。(つづく)

毎月の役員会・運営委員会の資料作成及び色々な会の司会進行等の職務にて、各委員会の方々とも沢山ふれあう機会があり勉強をさせて頂きました。

パソコンも色々な資料を作成する事により、随分腕も上がり嬉しい副作用が出ました。

何れに致しましてもこの 3 年間で色々な経験をさせて頂きました事、良い勉強になり今後活かして行きたいと思っております。

人間幾つになっても精進すれば、年は関係なく進化する物だと思いました。

平成 30 年度 緑鯨城会総会 アトラクション



委員会活動からの贈り物

前ボランティア委員長 鹿島 節子 (28 期 生活 A)

桜の美しい季節は出会いと別れの季節です。私も委員長を含め三年間のボランティア委員の務めを終えることが出来ました。

ボランティア活動は皆様の協力なくしては進めることが出来ません。沢山のご協力やご支援を頂き心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

振り返れば2年前、思いもかけずボランティア委員長の大役を仰せつかり、断り切れずに引き受けました。沢山の方から「委員長は大変よ!」と言われたのが現実になったのは、総会が終わってすぐの事でした。何をどう進めて行ったらいいのか、頭の中は不安でいっぱい、右往左往している私にアドバイスや励ましをくださった方達。「今度は参加しますよ」「人が足りなかったら言ってね」の言葉。ニコニコと雑巾を届けてくださった方達。どんなに心強くありがたかった事でしょう。

緑鯨城会に入れて頂き、委員会活動を通して素晴らしい人達に出会うことが出来た三年間は人生の後半の宝物になりました。

緑鯨城会の役員を引き受けるか迷っていらっしゃる方がみえましたら、一度やってみられることをお勧めします。短い時間にこんなにたくさんの方と出会えることが出来る機会はなかなかないと思います。

ボランティア活動はこれからも続いて行きます。どうぞこれからも緑鯨城会のボランティア活動にご協力とご支援をお願いいたします。

行事委員を終えて

前行事委員 阪野 敏子 (28 期 国際)

3年間行事委員をさせていただきました。

初めの1, 2年は見習いで手伝いのみ、気楽なものです。3年目になって行く先の選定やチラシ作りなどを担当しましたが、松井委員長の煩雑さに比べれば何ということもありませんでした。とは言え、バスツアーでは、募集人数が予定通りに集まってくれるかどうかまたキャンセルがありはしないか、当日ふたを開けるまで気がもめました。参加人数によって料金設定が変わり、予定の内容が出来なくなることがあるからです。そんな時、力になってくれるのが他の委員会のメンバー達です。いざという時に快く協力してくださる有り難い存在でした。また、行事の当日は参加者の方と行動を共にするので終わった後には、労いの言葉と「楽しかったよ」という温かい言葉を直接いただいて、少しの苦労などふっとんでしまいました。「引き受けて本当によかった」が今の感想です。

一番嬉しかったのは、中部国際空港見学に応募者が多数あったことです。

緑鯨城会の皆様、ありがとうございました。

新入会員(31期生)の紹介

この3月に、めでたく鯉城学園を卒業され、緑鯉城会に入会された31期生の皆さんをご紹介します。(あいうえお順)

氏名、専攻学科、所属していたクラブ、住いの学区、趣味、コメント等を各々に示して頂きました。

尚、掲載を希望されない方については、前年同様に下記の表示だけとします。

N0	期	学科	在学時のクラブ	氏 名	学区	趣味&コメント
1	31	健康 A		石橋 おとエ	徳重	
2	31	文化 A	天文・気象	上野 英生	戸笠	
3	31	生活 A	歩いて知ろう会	奥野 幸泰	東ヶ丘	次頁以降参照
4	31	陶芸	健康ウオーク	落合 正子	相原	
5	31	健康 B	マジック	加納 さち子	常安	
6	31	園芸		河村 興彌	戸笠	
7	31	生活 A	健康	川村 理起子	小坂	
8	31	陶芸	旅行	川本 敏子	旭出	
9	31	生活 A	社会研究	北畠 正典	鳴海	趣味；読書
10	31	生活 B	国際文化研究会	木村 昭子	緑	次頁以降参照
11	31	地域 B	天文・気象	金原 孝夫	戸笠	
12	31	文化 B	郷土史	久米 滋子	戸笠	
13	31	園芸	水彩画	須藤 進	大高	次頁以降参照
14	31	国際 B	水彩画	高野 孝	鳴子	次頁以降参照
15	31	健康 A	オカリナ	築城 千里	大清水	趣味；読書
16	31	地域 A	水墨画	林 潤一	大高	
17	31	健康 A	歩いて知ろう会	林 鏖子	常安	次頁以降参照
18	31	陶芸	絵手紙	肘井 貴子	有松	次頁以降参照
19	31	陶芸	書道	堀川 和夫	滝の水	
20	31	国際 A	書道	本多 光子	相原	
21	31	園芸	水墨画	右高 茂夫	桶狭間	次頁以降参照
22	31	地域 A	古文書	水野 誠子	有松	次頁以降参照
23	31	生活 B	囲碁	八木 國臣	有松	次頁以降参照
24	31	園芸	国際文化研究会	山下 富和	桃山	次頁以降参照
25	31	園芸	フォークソング	山田 正明	東ヶ丘	次頁以降参照
26	31	文化 B	社交ダンス	横井 和子	滝の水	

☆高年大学にいた時と同じように、気楽に楽しくやりましょう。

分からない事や、おかしいと思った事などあれば、何時でも先輩達に聞いてください。



奥野 幸泰 （おくの ゆきやす） （31 期 生活 A）

趣味：宿場町・城下町の散策

地域活動に参加

「60 歳からの学び、仲間づくり、社会参加」のフレーズに共鳴。
体験、実現したく学園生活を過ごしました。

そして、卒業後もその思いを継続して、出来る道について考えて来ました。緑鯉城会の目的が「地域活動に貢献すること」とあり、見聞を広め、自分にもできることがあるかも？と参加を決意しました。

周りの地域コミュニティが希薄するなか、鯉城会活動の成功事例やノウハウを学び、生活する地域に広げたいと考えています。

そのためにも、様々な活動に対して、前向きに取り組んでいきたいと思いますので、皆様よろしくお願い致します。

木村 昭子 （きむら あきこ） （31 期 生活 B）

趣味：ゴルフ、木彫

近況

この度、緑鯉城会に入会致しうれしく思います。

高年大学では、皆で何かを成しとげるという達成感を学び、私にとって大きな収穫でした。今は余韻を楽しむ為に楽陶館へ陶芸入門に通っています。また月一回、老人ホームでボランティアをしています。これからも元気で社会貢献出来たらと思っています。



須藤 進 （すどう すすむ） （31 期 園芸）

趣味；謡曲・水墨画

経歴と現況

31 期（園芸＝水墨画）卒業の須藤です。群馬県より昭和 37 年 2 月大高町に移住して以来（転勤はあったが）大高学区の住人です。

緑鯉城会については、10 月区民祭りの、区役所講堂での作品展が強く印に残り、卒業後は緑鯉城会に入会しようと決めていました。

趣味は、在職時よりの謡曲（観世流）・学園時の水墨画（香墨会＝31 期クラブ会員で設立）です。

福祉活動については、学区の各種事業企画に参加し、実施して参りましたが、今後も引き続き、参加してゆく所存です。



高野 孝 (たかの たかし) (31 期 国際 B)

趣味：水彩画、旅行

Going My Way

サラリーマン人生をリタイヤし、鯉城学園に入学し、多種多様な個性、感性、経験豊富なクラスメート、クラブメートに刺激され、無趣味な私が、「何と！」絵を描く楽しさ、達成感を味わう事ができる様になりました。卒業後もクラブメートと共に絵を描く活動が続け、秋の区民展出展を目標に、趣味を楽しみながら精進して行きたいと思っています。又、残り少ない人生を旅に費やし、まだ見ぬ日本の魅力にふれたいと思っています。

林 簾子 (はやし りょうこ) (31 期 健康 A)

趣味；折紙、手芸

歳の差

やりたい事と言よりも、行ってみたい所があります。

近所に同年配の人がいないので、話をする機会が少ないから一人家の中にいることが多いです。

老人ホームとかデイサービスといった老人の集る所に行き話をしたり遊んだりしたいです。

年を取って良く分かる様になったのは歳の差です。

8月に84才になります。



肘井 貴子 (ひじい たかこ) (31 期 陶芸)

趣味；プール、バードウォッチング

「今」

鯉城学園には、陶芸をしたくて入学しました。卒業後は3カ月の研究科に入れました。またシルバーカレッジも入れました。地域は、みどり陶芸クラブに入れてもらい大変喜んでいきます。また窯もあるので、焼く所も体験できるので、とても楽しみにしています。これからもよろしくお願い申し上げます。

右高 茂夫 (みぎたか しげお) (31 期 園芸)



趣味；ジョギング

今後の活動方針

緑鯉城会に、何かやりたいことがあるから入会・・・、が目標はない。私にできるボランティア活動に参加したいと思っている。
今後の活動は、園芸で野菜作りの楽しさを学んだことから、自分の作りたい野菜を育てたいと思い、市民農園を申し込んだところ抽選に漏れてしまった。この時に園芸の仲間から農地を借りられる伝手があるから一緒に畑をやらないかと誘いがあり、畑を見学に行き了承した。畑は 300 坪あり広いため、覚悟して取り組んで行く所存です。

水野 誠子 (みずの のぶこ) (31 期 地域 A)

趣味：川柳

感謝

31 期生として入学させて頂き、先生方、クラスメート、クラブの方々にとても良くして頂きました。お陰で、楽しく有意義な 2 年間を過ごす事が出来、深く感謝致しております。鯉城会も、きっと居心地の良い所に違いないと思い、入会させて頂きました。体が弱いので、社会への貢献は出来そうにありませんが、少し溜まったタオル、バスタオル等がお役に立てればと、思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。



八木 國臣 (やぎ くにのみ) (31 期 生活 B)

趣味；登山、スキー、バトミントン
コメント特になし

山下 富和 (やました とみかず) (31 期 園芸)

趣味：なし

名古屋市民に慣れない私

緑区に居住し 15 年、不器用な性格の為に未だに地域に慣れない自分です。偶然にも高年大学鯉城学園に入学・卒業出来、緑鯉城会に入会しました。自分にとって何が出来るか、未だに分かりません。色々な催し物に極力参加努力しながら緑区民・名古屋市民に近づきたいと思います。皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

山田 正明 (やまだ まさあき) (31期 園芸)

趣味：野菜作り等の農作業、花栽培等の園芸、ギター、寺社巡礼

鯉城学園に入学するまでは、毎日自宅と会社の往復だけで仕事中心でしたが、鯉城学園では楽しい学生生活を経験できました。今も会社員で休日は農作業をしており田畑で米、野菜等を作っています。卒業後は園芸緑友会で鶴舞公園、名城公園、戸田川緑地で花植えボランティアに参加しています。緑鯉城会でも皆様にご指導頂き色々な活動に参加したいと思いますので宜しくお願い致します。

31期生緑鯉城会新入会員への説明会時に撮影

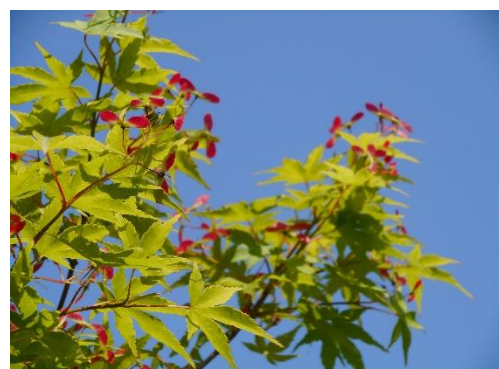
18年4月14日(土) 片平ふれあいセンターにて



左写真の方の姓(敬称略)

奥 堀 林 本 川 八 山
野 川 多 村 木 下

金 河 高 上 北
原 村 野 畠



ボランティア

ボランティアのはじめ、かきつばた見学

水戸 和子 （11 期 生活）

緑鯢城会の役員活動として「ボランティア委員会」を組織するため先輩会長、後輩役員皆さんの協力で貴田施設長さんの許容に応えられるように見学会や学習会を重ねました。年次毎の役員一同への引継ぎも協力の和を育てながら現在の緑鯢城会ボランティア委員会として活動も向上していると実感しています。

過ぎた 20 年前の思い出は、一人でカセットとテープを持って通った日々、施設利用者さんと歌ったりお話ししたり思い出一杯です。

かきつばたの里見学会は三度目です。施設を訪れる度、思い出がよみがえります。久しぶりに貴田施設長さんとお話もでき、相変わらずおだやかに対応下さいました。見学会参加の皆さん配られた 2 枚の資料を手に貴田施設長さんの説明、お話をメモを取りながら聴きました。

「老人ホームの介護施設の種類みんなの介護」についてのお話はとても参考になりました。公私共に高齢者向け住宅が増加中ということもニュース等で知っているようで知らないことが多くあります。自身が入居可能な施設はどんな施設？と聞かれても施設選びをすることは困難です。希望することと可能なことの規定、判定基準が異なることを理解しなければならないのです。元気な時を逃さず老人福祉関係等に関心をもつことが大切だと思います。

「いざという時は身近な相談窓口、地域包括支援センター」

「65 歳以上のひとり暮らし、民生委員さんの見守り」



筆者が何年前か前、仲間のボランティア委員とかきつばたの里で撮影した思い出の写真。

18 年 5 月 2 日（水）午後、かきつばたの里、施設見学会で貴田施設長さんの説明を聴く。必ず老いて亡くなることに備えることが大切。



ウイメンズマラソンボランティアに参加して

加藤 比敏 (29 期 福祉 A)

3 月 11 日 (日)、今年は穏やかな日和に恵まれ、時々晴れ間も覗く走者にとっては暑いくらいのマラソン日和になりました。

われわれ緑鯉城会の担当場所は地下鉄瑞穂運動場西駅の北側、スタート地点からは約 7 Km 地点での歩行者誘導、整理でした。

午前 8 時半には集合し、コーンを並べ、ロープ張りをし、ランナーを待つことになりました。

最初に、白バイでの先導はホイールチェアーが 1 台、9 時 15 分頃早いスピードで向かいの往路を過ぎ去っていきました。

ホイールチェアーは瑞穂運動場がゴールの 10.5Km でトップの人は凄いスピードに見え男性かな？と思えるほど。あとで結果を見ると 6 人がゴールしトップは 25 分 52 秒の後続を 5 分ほど引き離してのダントツの一位でした。

その後、9 時 25 分頃マラソンランナーが白バイの先導でやってきましたが殆どダンゴ状態でトップはゼッケンの異なるペースメーカーとわかりました。

先頭集団には日本人も多数いましたが 15Km 地点の復路で、真近に見ても選手の名前まではわかりません。

その後、30 分もすると隊列もだんだん長く多数になって一般参加のカラフルな服装や少しコスチューム風のランナーも混じりだんだん和気あいあいとした人達も多く、歩行者の整理とともに 10 台の仮設トイレに誘導するようになると、トイレ待ちの選手が長い行列を作るようになりました。

水飲み場と仮設トイレが設けられていて、われわれボランティアは誘導しながら声援しました。

11 時を過ぎるとさすがにランナーは少なくなり、そのうち時間オーバーのランナーを拾っていく大型バスが通り過ぎると道路整理は終了です。

スタート地点から近いところでの往復路のボランティアだったので早めに終わりましたが、完走者は 21,145 人で女子マラソンではギネス記録だったそうです。



HP 緑の広場より

車椅子贈呈式



2018年3月23日（金）緑市民病院で車椅子の贈呈式がありました。

昨年頂いた感謝状の副賞を車椅子2台に換え、皆様に喜んでいただけるようお贈りしました。車椅子の横に「贈緑鯉城会」のプレートを貼って頂きましたので、緑市民病院においでの際はご覧ください。

扇川クリーンキャンペーン

2018年6月2日（土）参加者 20期生～31期生
扇川クリーンキャンペーンが東部コースと西部コースに分かれておこなわれました。

緑区役所の人、ドンキホーテの皆さん、緑鯉城会の皆さん、それぞれ「Cコース」と「Dコース」に参加しましたが、Cコースに粗大ごみがありました。ドンキホーテの人が軽々と運んで、さすが若い人は頼もしいと思いました。



扇川クリーンキャンペーン関連写真

西部コースに参加の皆さん （福田聖太郎さん撮影）



東部コースに参加の皆さん



俳句・短歌・川柳コーナー

俳句

夏の月触れんばかりの鬼瓦
咲く前に開く茶会や百合の花

十七期 園芸

鹿島 昭裕

ピラカンサ青空のもとたわわなる

二十九期 文化A

熊田 八郎

花吹雪靴に一枚留まりぬ
菖蒲湯や鉢巻の子の仁王立

三十期 地域A

倉知 峯子

夕焼や水平線のちぎれ雲

三十期 文化A

大矢三智子

餌を食むきりんの脚を夏の蝶

夏草やきりんは餌を食むばかり

三十期 文化A

坂神 誠

初蝶やホバリングしつふはり翔ぶ

三十期 文化A

平田 秀

漆黒の墨絵にひかり姫ボタル

三十期 文化B 阪 文子

暑き春新たな出会ひ鯉城会

三十一期 文化A 上野 英生

短歌

故郷の無人いちじく販売所ひと籠買いし法事の帰り
童謡のみやげを提げて老健の慰問続ける老人クラブ

十七期 園芸 鹿島 昭裕

暖かなそよ吹く風の公園に椋鳥遊ぶたんぽぽのなか
薄青き鈴鹿連峰横におきトリトンブリッジ銀色にあり

二十九期 文化A 熊田 八郎



連休に断捨離プラン立てれども体調崩し身動き取れず

三十期 文化A 大矢三智子

君はいま何が楽しく生きている動物園のキリンが哀しい
産みし子は京都、福岡キリン舎に母親マオは遠き空見る

三十期 文化A 坂神 誠

我が家の些細なことを歌にせり友の返しに解もいたなく

三十期 文化A 平田 秀

化粧品を韓国人は爆買す道頓堀に春色の列
ひたすらに大阪城に来てみれば思い寄せたる梅のようなひと

三十期 文化B 阪 文子

アドリアのあざやかなりし陽光の港にたたずみ遺跡を眺む
異国にて戦いのあと目に刻む我のこし方見つめなおす
出会いの輪波紋の如く広がりぬ鯨城の歩みさらに続かん

三十一期 文化A 上野 英生

川柳

詐欺電話でぐすねひいて待ち構え
マドンナの出すフェロモンに惑わされ
ほどほどの酒が効いている顔の艶

二十一期 文化A 青山 良巳

化粧より口角あげて友に会う

三十期 文化A 平田 秀

鯨城会伏見の城より遠きかな

三十一期 文化A 上野 英生



ハゼ釣り

都島 信行 (24 期 生活 B)

梅雨明けを待って私の楽しみはハゼ釣りです。新子ハゼと言って十センチ足らずの小ハゼです。以前のように釣れなくなりましたが、晩酌のつまみには充分の釣果が期待できます。潮見表を見て大潮は干満の差が大きく沿岸の釣りには適します。前日は試行錯誤で仕掛けの準備をします。

そして早起きも苦にせず知多の海を目指します。いつものポイントで両隣の人に挨拶を交わし釣り糸を垂らします。落ち着いた頃、ウキが“ピクピク”と上下します。新子ハゼは一気に引く力が弱く、竿を上げるタイミングが難しいが、お構いなく竿を上げる。それでも“ピチピチ”としたハゼが釣れます。一心にウキを見ている時は何もかも忘れ無心の時が過ぎます。遠くには大型客船がゆっくりと進み“何処へ行くのか”と想いを巡らせます。近くを“ポンポン”と小型漁船がせわしく行き交いカモメが後を追います。背後の白砂青松の風景に癒（いや）される私は、そんな風景が好きです。昼食は梅干しの入った手製の真ん丸のおにぎり 2 個をほおぼりますが、海苔の匂（にお）いと潮の香りは釣り人の特権でしょう。私は再び竿先に神経を集中し、至福の時は過ぎていきます。程良い疲れを感じた私は大きく背伸びをして納竿します。相当数を釣り上げましたが、数匹を持ち帰り、後はリリースします。夕日が沈む頃、私は釣り人に挨拶をして帰路に着きます。

黄昏時に思うこと

平田 信幸 (29 期 生活 B)

60 歳を過ぎ、人生の黄昏時に鯉城学園の門を叩きました。

そこは、驚きの世界でした。左を見ても右を見ても年寄りばかり、老人ホームかと勘違いする程でした。場違いな所に来てしまったと、思う日々でした。

しかし、慣れとは恐ろしいもので、話をし酒を酌み交わしているうちに、年を重ねた重み、味わいを感じる様になりました。

文化祭や体育祭及び修学旅行等人生の黄昏時に楽しい思い出を創る事が出来ました。

卒業後、地区の鯉城会に入会して各種のボランティアに参加しています。時にはイヤだと思う事も有るけど、なんとかやっています。

学園時代講師に、よく言われた言葉で、今日行く、今日用が必要だと、言われた言葉を胸に老体にムチ打って、仕事に趣味及びボランティアにと人生の黄昏時を生きていきます。

同好会活動

ボケ防止の健康麻雀の会

高須賀 哲一 (26 期 生活 A)

最近になってまた麻雀がブームになっていると言われています。かつては巷に溢れていた麻雀荘は影を潜めてしまっているのに…です。先日、会員の女性から「麻雀の台を買いたいので業者を紹介して欲しい!」と依頼があり、業者と話をする機会があったので近況を聞いてみると、その業者への注文で目立つのは、自治体(高齢者の施設用らしい)や老人会で、台は全自動式ではなく「手打ち式」だそうです。

明治時代の末に日本に渡来した麻雀は、昭和の初め、終戦後、それに 40 年代にブームになったそうですが、今回は高齢者と共に女性がブームの中心になっているような気がします。

健康麻雀の会もお陰様でブームに便乗していて、現時点では入会の希望が有っても待機をして頂いている状況です。麻雀の会を設立して 4 年目の現在、会員数 26 名の内 12 名が女性で、その会とは別の麻雀教室の方は 18 名全員が女性なのです。尚、教室の方では現在 2 名の方に入会の待機をしていただいています。

どなたか麻雀の同好会を新たに立ち上げていただけませんか? 健康麻雀の会に参加をしたくても、曜日の都合が合わない! 場所が遠くて通えない! 等で参加したくてもできないという方がまだまだ沢山お見えになります。同好会は緑区にあと 2 か所くらいはあってもいいと思っています。

私は自身のボケ防止(?)の為にやっているのですが、麻雀は高齢者のボケ防止には最適な遊びだと言われています。緑鯉城会の会員の皆さんで麻雀大会ができたりすると楽しいでしょうね。

私が鯉城学園を卒業して、麻雀の会を立ち上げた時、学園や鯉城会で「緑区に麻雀クラブというものが出来たそうだ!」とちょっとした話題になりましたが、今では幾つかの区に麻雀のクラブができた様ですね。



歌で健康維持とボケ防止

磯部 勝 (27 期 国際)

カラオケ同好会のリーダー磯部です。歌は子供のころから大好きで、ずっと歌い続けているので、緑鯨城会に入会しても、すぐにカラオケ同好会にお世話になりました。

メンバーは 15 期から 31 期まで 15 名、男性 9 名女性 6 名です。毎月第一第三火曜日の 12 時から笹山西の「シダックス」で、2 時間歌っています。演歌を歌う人が多いですが、ジャンルを構いません。私は「西野カナ」や「AKB48」も歌います。

ある医者のお話では、1 日に 10 曲歌うと健康維持できると言っていました。また、歌はボケ防止にもいいと言われています。

私は 5 月に NHK のど自慢の予選に出場しました。残念ながら本選には出られませんでした。が、本選と同じ舞台に立ち、いい経験をさせてもらいました。

カラオケ例会の参加者は 6 名～8 名くらいですが、8 名を超える場合は 2 部屋で行いますので、十分に歌えます。皆さんも一緒に歌いませんか。



楽しく 面白い 陶芸

陶芸サークル代表 楠 英 信 (23 期 陶芸)

緑鯨城会の皆様、毎日それぞれの地域でのご活躍ご苦労様です。私たちの緑鯨城陶芸サークルについて現状を報告致します。

発足より 20 余年が過ぎ、組織メンバーも御多分に漏れず高齢化とメンバーの固定化が進んでいます。それでもなお元気に楽しく作陶にいそしんでおります。

女性 16 名、男性 9 名が在籍しています。ただいま男性の方で陶芸に興味をお持ちの方、是非参加してみませんか。当サークルは専属の先生は居りませんので先輩の方に教えて頂きながらの作陶になります。楽しく一生懸命に頑張っております。

サークル内の雰囲気は、なごやかで非常にアットホーム的なのが自慢です。それぞれの作品の出来上がりをあれこれと期待しながら粘土と向き合って作陶しています。

※ 緑生涯学習センターにて毎月の火曜日 (第 2 は月曜日)

※ 時間 PM 1:00～4:00

※ 会費 1,500 円、その他粘土・焼成費等必要です。

当サークルはすべての事を自分たちで計画し実行しています。その関係ですべての作業を当番制で行っていますので釉薬の調合、焼成等、陶芸全般に興味のある方には良い体験と勉強が出来る事と思います。希望の方は一度教室を見学に来所頂ければ幸いです。来所時は代表まで連絡をお願い致します。 携帯電話 090-1982-9018

緑鯨城会ゴルフ同好会（MGK 会）活動

馬場 良祐（29 期 生活 A）

MKG 会は「22 期・23 期の緑鯨城会の役員、運営委員の方々の親睦ゴルフ会として平成 24 年頃に発足」されたと聞き及んでいます。

平成 28 年 10 月の第 18 回親睦コンペにおいて同好会組織にする旨の提案があり、12 月に親睦会会員の皆様に承認されて現在に至っています。

私自身は平成 29 年 1 月に入会のお誘いを受けて同好会としての第 1 回（H29 年 3 月）のコンペから参加しています。

第 3 回（H29 年 10 月）終了後、会長（25 期環境 外山昇さん）から事務局の一員の要請があり、好きなゴルフのことでもあり快諾してお手伝いをさせていただいています。

活動状況は年 3 回（春・夏・秋）の開催、近々では 4 月 27 日に森林公園ゴルフ場で好天の下、16 名の参加で行いました

開催の度に高齢の為、「車の運転をやめた、体調がすぐれない」等の理由で退会される方が出てきて会員数が減少しています。

※入会金は不要・参加費は賞品代として 1,000 円です。

ゴルフ好きの方は何時でも入会できますので友人等お誘いの上、下記へ連絡をお願いします。お待ちしております！！

会長 外山 昇 （25 期 環境）

事務局 馬場良祐 （29 期生活 A） 090-3952-1701



「趣味の作品展」実施が決まりました！

皆さんの応募を期待しております！

第23回の「趣味の作品展」実施の詳細が決まりました。
今年も、皆さんの多くの作品の応募をお待ちしております。

開催日時 10月27日（土）午前10時～午後4時30分
10月28日（日）午前10時～午後3時

出 展 ①出展作品 昨年と同様です。次ページを参照してください。
②申込先 次ページの各出展責任者に申し込んでください。
③申込方法 FAX、郵便、メール等で申し込んでください。

※申込み期限は9月15日です。

作品搬入時間 10月27日（土）

※作品搬入時間は作品ごとに、時間が決められています。

作品搬出時間 10月28日（日）

※午後3時から午後3時45分

会 場 緑区役所 2階講堂

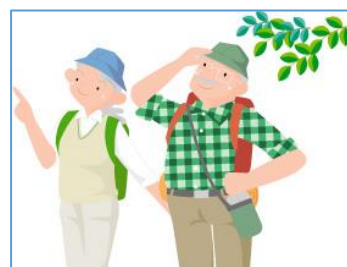


「趣味の作品展」申込先等一覧

出展部門	氏名	期	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	〒	住所	出品点数等
絵画	中島輝夫	27	623-9248	同左		458-0830	姥子山4-628	一人2点まで
陶芸	楠英信	23	876-0451			458-0802	兵庫1-150	一人5点まで
絵手紙	安田節子	29	622-5573	同左		458-0822	鳴海町大将ヶ根2-702 鳴海太子ハイツ203	一人5点まで
写真	渋谷稔	30	876-3173	同左	shibuya428@commufa.jp	458-0804	亀が洞1-1701	一人2点まで
短歌・俳句・ 川柳	坂神誠	30	090-6082-5401		msms1221@yahoo.co.jp	458-0021	滝の水2-101 シティコーポ滝の水1-202	一人5点まで
パソコン作品	山本捷一	26	625-1478	同左		458-0921	桶狭間清水山1024	一人2点まで
工芸	馬場良祐	29	895-5408	同左	ya82754@jk.so-net.ne.jp	458-0021	滝の水2-1201-1	一人3点まで
絞り	橋本幸子	25	621-9890	同左		458-0916	有松町桶狭間愛宕西23-315	一人3点まで
書道	阪文子	30	623-5604	同左	yahoo2323@xj.commufa.jp	458-0036	六田二丁目30-1	一人2点まで
鉢物・盆栽	岩井勝	26	876-2811	同左		458-0804	亀が洞3-818	例年通り
甲冑	近藤比呂史	30	621-2590	同左	kondo_hs@mc.ccnw.ne.jp	458-0033	相原郷2-611	例年通り

2018 ウォーキング同好会活動報告

加藤 勝江 (26 期 福祉)



3 月 30 日 (金) 東山一万歩コース&植田山ウォーキング

*21 期~29 期 男性 4 名 女性 11 名 15 名参加。途中、ヤマツツジが綺麗でした。

4 月 30 日 (月) モリコロパークウォーキング

*24 期~31 期 男性 8 名 女性 6 名 14 名参加。五月晴れの中、良い汗をかきました。

5 月 30 日 (水) 海上の森ウォーキング (雨天のため、中止)

◎ 30 年度後期ウォーキング同好会案内 連絡先 加藤勝江 090-3564-7523

前日の午後 6 時 52 分天気予報で 9 時~15 時まで雨量 50%以上中止

***牧野ヶ池緑地ウォーキング&ランチ** 6K 難易度 1

集合時間・場所 9 月 30 日(日) 9 時 30 分 東山線・星ヶ丘バスターミナル 3 番乗り場

服 装・持 物 動きやすい服装・帽子・飲み物 雨具

行 程 星ヶ丘バスターミナル 9:35 発=梅森坂~牧野ヶ池散策~ランチ~解散

***築水池・西高森山 (春日井) 散策** 6K 難易度 2

集合時間・場所 10 月 30 日(火) 9 時 15 分 地下鉄大曽根東改札口

服 装・持 物 動きやすい服装・帽子・飲み物・弁当・雨具・ストック

経 路 ゆとりーとライン大曽根 9:30 発=敬老パス利用=バス高蔵寺 10:08 着

名鉄バス高蔵寺 10:19 発=350 円×2 マナカ利用可=植物園 10:46 着

行 程 少年自然の家~築水池~西高森山~築水池~植物園バス停 2 時 56 分発

***愛岐トンネルウォーキング** 5K~7K 難易度 1

集合時間・場所 11 月 30 日(金) 9 時 30 分 地下鉄大曽根東改札口

服 装・持 物 動きやすい服装・帽子・飲み物・弁当・雨具

経 路 JR 中央線大曽根 9:44 (320 円×2) →定光寺 10 時 04 分着

行 程 定光寺駅~愛岐トンネル (昼食) ~余裕があれば定光寺散策

表紙「オアシス 21 の夜景」について

訪れるすべての人が憩い、楽しむことができる空間「アオシス 21」、夜空に光輝く姿に魅せられ、黒い画用紙に水彩で描いた作品です。

近藤 仙治 (25 期 環境)



編集後記

- ◎ 皆様のご協力により、「ふれあい 72 号」を完成させることができました。ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。
カラー化した「ふれあい」をお届けするようになるとか、緑区の歴史文化を取り入れた記事を書けるとか、多くの会員の方々の原稿収集に努めるとか等々、課題は、まだまだ沢山あります。
歩みは遅いですが、少しずつ改善を図って参りたいと思っていますのでよろしくご支援の程お願い致します。
- ◎ 次回の「ふれあい 73 号」は、10 月末日に原稿を締切り、11 月中に編集・印刷を行い、12 月初めには配布出来る様にしたいと思います。
寄稿のご協力をよろしくお願い致します。
広報委員のメールアドレス・電話は、次に示す通りです。

熊田 八郎	hkuma383@jasmine.ocn.ne.jp	TEL 895-8797
奥村 和郁	okmr1947@md.ccnw.ne.jp	TEL 892-2366
坂神 誠	msms1221@yahoo.co.jp	TEL 090-6082-5401
河内 猛男	tk9638@xj.commufa.jp	TEL 090-2182-0005

緑広報委員会